

平成 18 年 度

九州地域における

中山間地域等直接支払制度の実施状況

平成 19 年 1 1 月

九州農政局地域整備課

平成18年度の取組実績

1 交付市町村数

集落協定及び個別協定を締結する上で指針となる中山間地域等直接支払市町村基本方針（以下「基本方針」という。）を策定した市町村は183市町村（全国1,057市町村）。

また、交付金を交付した市町村（以下「交付市町村」という。）は181市町村で、対象農用地基準を満たす農用地を有する市町村（以下「対象市町村」という。）193市町村の94%（全国1,130市町村92%）。

交付市町村数

	平成18年度	平成17年度	増減（率）
全市町村数	257	261	4（1.5%）
対象市町村数	193	196	3（1.5%）
基本方針策定市町村数	183	187	4（2.1%）
交付市町村数	181	184	3（1.6%）
交付市町村率 /	94%	94%	

2 協定数

平成18年度までに締結された協定数は5,767協定（全国比20.2%）。

このうち、集落協定は5,701協定（全国比20.3%）個別協定は66協定（全国比14.9%）。

締結された協定数

	平成18年度			平成17年度		
	協定数	体制整備単価	基礎単価	協定数	体制整備単価	基礎単価
集落協定 （率）	5,701 （100%）	2,657 （47%）	3,044 （53%）	5,611 （100%）	2,479 （44%）	3,132 （56%）
個別協定 （率）	66 （100%）	44 （67%）	22 （33%）	62 （100%）	39 （63%）	23 （37%）
合計 （率）	5,767 （100%）	2,701 （47%）	3,066 （53%）	5,673 （100%）	2,518 （44%）	3,155 （56%）

集落協定とは、対象農用地において農業生産活動等を行う複数の農業者等が締結する協定。

個別協定とは、認定農業者等が農用地の所有権等を有する者との間において利用権の設定等や農作業受委託契約に基づき締結する協定。

基礎単価とは、適正な農業生産活動等に取り組む場合の単価。

体制整備単価とは、適正な農業生産活動等に加え、更なるステップアップ（機械・農作業の共同化等の体制整備）に取り組む場合の単価。

(1) 集落協定

集落協定数は5,701協定あり、全協定に占めるシェアは99%。

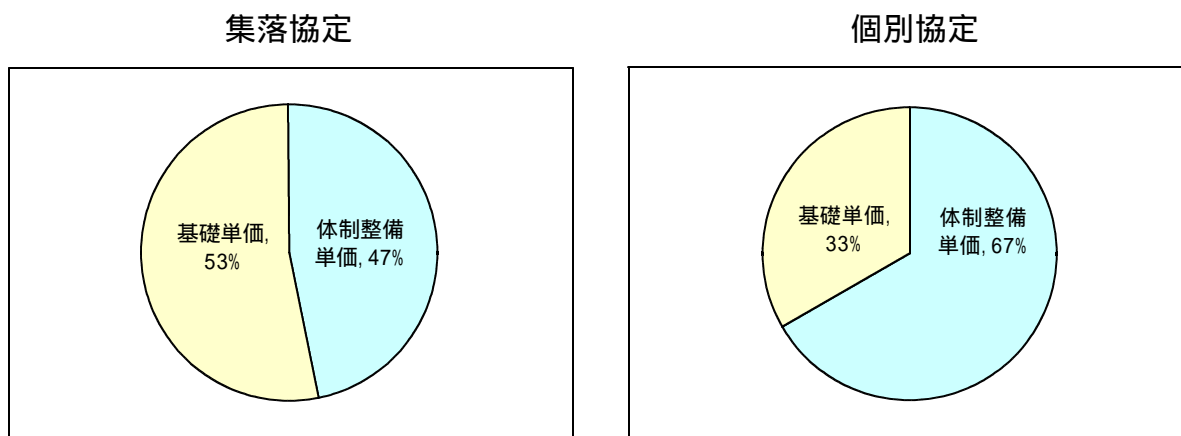
また、集落協定うち基礎単価に取り組んだ協定は3,044協定（シェア53%）、体制整備単価に取り組んだ協定は2,657協定（シェア47%）。

(2) 個別協定

個別協定数は66協定あり、全協定に占めるシェアは1%。

また、集落協定うち基礎単価に取り組んだ協定は22協定（シェア33%）、体制整備単価に取り組んだ協定は44協定（シェア67%）。

(図)単価別の協定数



3 交付面積

平成18年度に交付金が交付された面積（以下「交付面積」という。）は81,114ha（全国662,772ha、北海道を除く都府県338,954ha）

また、交付面積のうち、基礎単価による交付面積は26,174ha（全体の32%）、体制整備単価による交付面積は54,939ha（全体の68%）。

交付面積 (単位：ha)

	平成18年度	平成17年度	増減(率)
対象農用地面積	103,562	108,518	4,956 (4.6%)
交付面積	81,114	79,835	1,279 (1.6%)
基礎単価	26,174	27,366	1,192 (4.4%)
体制整備単価	54,939	52,469	2,470 (4.7%)
交付面積率 /	78.3%	73.6%	

ラウンドの関係で計が合わない場合もある。(以下同様。)

対象農用地面積は、中山間地域等直接支払交付金実施要領第4の2の(1)から(5)の基準に該当する農用地のうち、市町村が対象農用地として基本方針に記載している農用地面積。

(1) 加算単価面積

担い手等への農作業の受委託、法人の設立等、より積極的な取り組みを行う場合において、別途単価が加算される面積（加算単価面積）は、規模拡大加算38ha、土地利用調整加算461ha、耕作放棄地復旧加算25ha、法人設立加算1,553haとなっており、また、全国比としては、法人設立加算の割合が高くなっている。

加算単価面積 (単位：件、ha、%)

	規模拡大加算		土地利用調整加算		耕作放棄地復旧加算		法人設立換算			
	協定数	面積	協定数	面積	協定数	面積	特定農業法人		農業生産法人	
							協定数	面積	協定数	面積
九州	24	38	24	461	15	25	23	671	35	882
全国	422	1,174	169	3,113	113	89	126	3,399	111	2,839
全国比	5.7	3.2	14.2	14.8	13.3	28.1	18.3	19.7	31.5	31.1

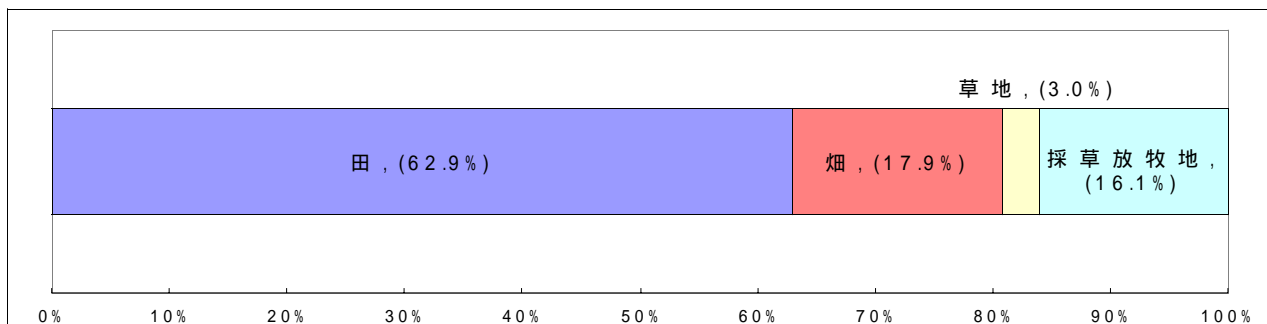
(2) 地目別交付面積

九州における地目別交付面積の割合は田63%、畑18%、草地3%、採草放牧地16%。交付面積率（対象農用地面積に対する交付面積の割合）は78%であり、これを地目別にみると、田83%、畑61%、草地89%、採草放牧地87%となっており、畑の締結率が低い状況となっている。

地目別交付面積（地目別交付面積率） (単位：ha)

	計	田	畑	草地	採草放牧地
対象農用地面積 (割合)	103,562 (100%)	61,778 (59.7%)	24,067 (23.2%)	2,728 (2.6%)	14,989 (14.5%)
交付面積 (割合)	81,114 (100%)	51,052 (62.9%)	14,558 (17.9%)	2,439 (3.0%)	13,065 (16.1%)
交付面積率 /	78.3%	82.6%	60.5%	89.4%	87.2%

(図)地目別の交付面積割合



4 交付総額

交付金の交付総額は、約92億円（対前年比2.6%増）

		交付総額 (単位：万円)		
		平成18年度	平成17年度	増減 (率)
交付総額	交付総額	920,850	897,485	23,365 (2.6%)
	基礎単価	270,022	286,596	16,573 (5.8%)
	体制整備単価	650,828	610,889	39,939 (6.5%)

5 集落協定の活動内容

(1) 取り組むべき事項

集落マスタープランの内容

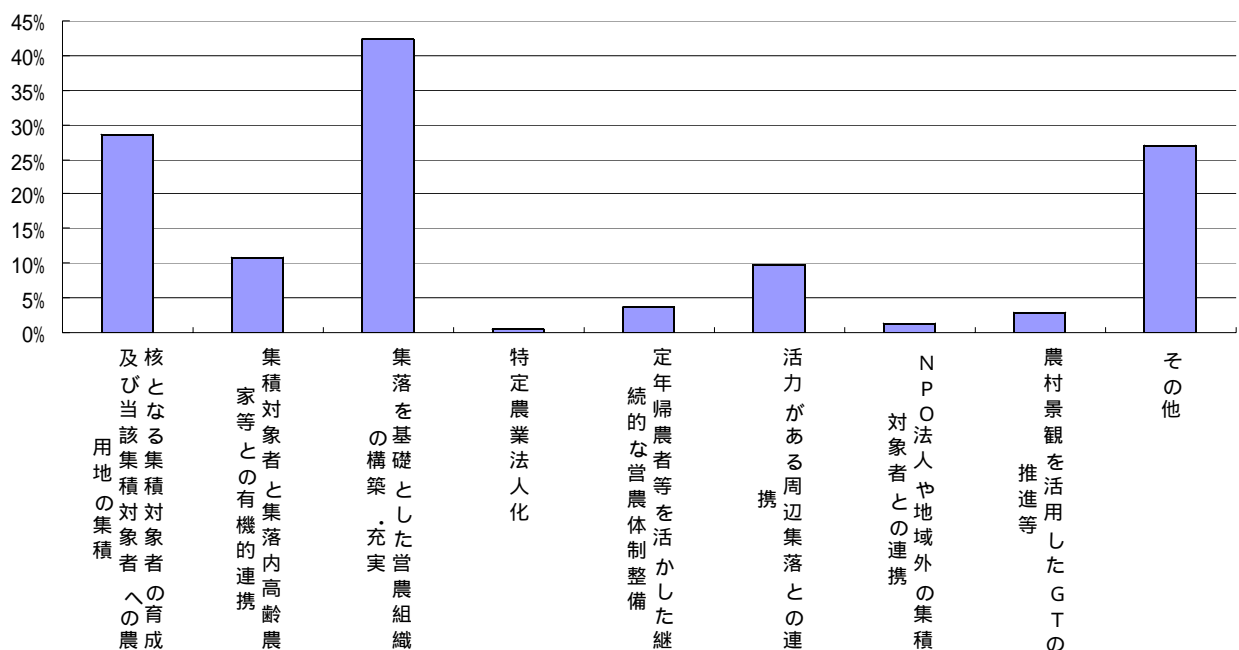
集落協定の目指すべき将来像となる集落マスタープランの内容は、過疎化・高齢化等による担い手不足に対応するため、農業機械等の共同利用組織や集落営農組織化などを目標とする「集落を基礎とした営農組織の構築・充実」が42%と多く、次いで「核となる集積対象者の育成及び当該集積対象者への農用地の集積」が29%となっている。

集落マスタープランにおいて位置づけている内容

	集落協定総数	集積対象者を核とした農業生産活動等の体制整備		集落ぐるみの農業生産活動等の体制整備				地域の实情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備		その他
		核となる集積対象者の育成及び当該集積対象者への農用地の集積	集積対象者と集落内高齢農家等との有機的連携	集落を基礎とした営農組織の構築・充実	特定農業法人化	定年帰農者等を活かした継続的な営農体制整備	活力がある周辺集落との連携	NPO法人や地域外の集積対象者との連携	農村景観を活用したGTの推進等	
協定数 (割合)	5,701 (100.0%)	1,636 (28.7%)	613 (10.8%)	2,413 (42.3%)	35 (0.6%)	216 (3.8%)	552 (9.7%)	81 (1.4%)	169 (3.0%)	1,537 (27.0%)

「その他」には、「環境保全型農業の実践」、「農村景観の整備・美化」等がある。

(図) 集落マスタープランにおいて位置づけられている内容



農業生産活動等（全協定）

ア 耕作放棄の防止等の活動（必須）

耕作放棄の防止等の活動内容は、「農地の法面管理」が76%と最も多く、次いで「鳥獣被害防止対策」39%、「賃借権設定・農作業の委託」37%となっている。

耕作放棄地の防止等の活動（1つ以上選択）

	集落協定 総数	賃借権設 定・農作 業の委託	既耕作放 棄地の復 旧	既耕作放 棄地の林 地化	既耕作放 棄地の保 全管理	農地の法 面管理	鳥獣被害 防止対策	限界的農 地の林地 化	簡易な基 盤整備	土地改良 事業	自然災害 を受けて いる農用 地の復旧	地目変換	その他
協定数	5,701	2,128	34	3	168	4,335	2,248	38	775	84	32	11	200
(割合)	(100.0%)	(37.3%)	(0.6%)	(0.1%)	(2.9%)	(76.0%)	(39.4%)	(0.7%)	(13.6%)	(1.5%)	(0.6%)	(0.2%)	(3.5%)

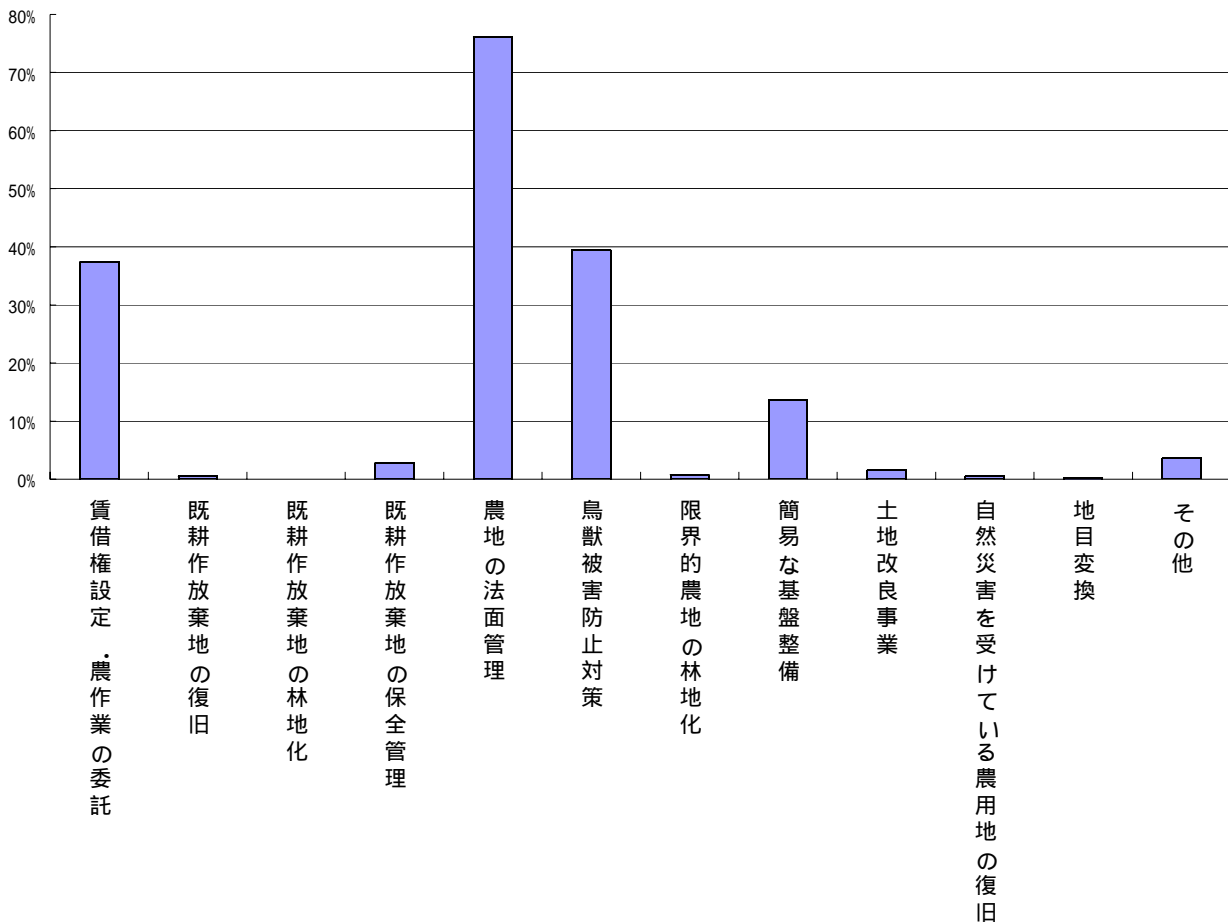
「その他」には、「農用地の定期点検」、「家畜放牧による耕作放棄地管理」等がある。

水路・農道等の管理（1つ以上選択）

	集落協定 総数	水路の 管理	農道の 管理	その他の 施設の 管理
協定数	5,701	5,309	5,666	271
(割合)	(100.0%)	(93.1%)	(99.4%)	(4.8%)

「その他施設の管理」には、ため池や揚水機の管理等がある。

（図）耕作放棄の防止等の活動



イ 多面的機能を増進する活動（必須）

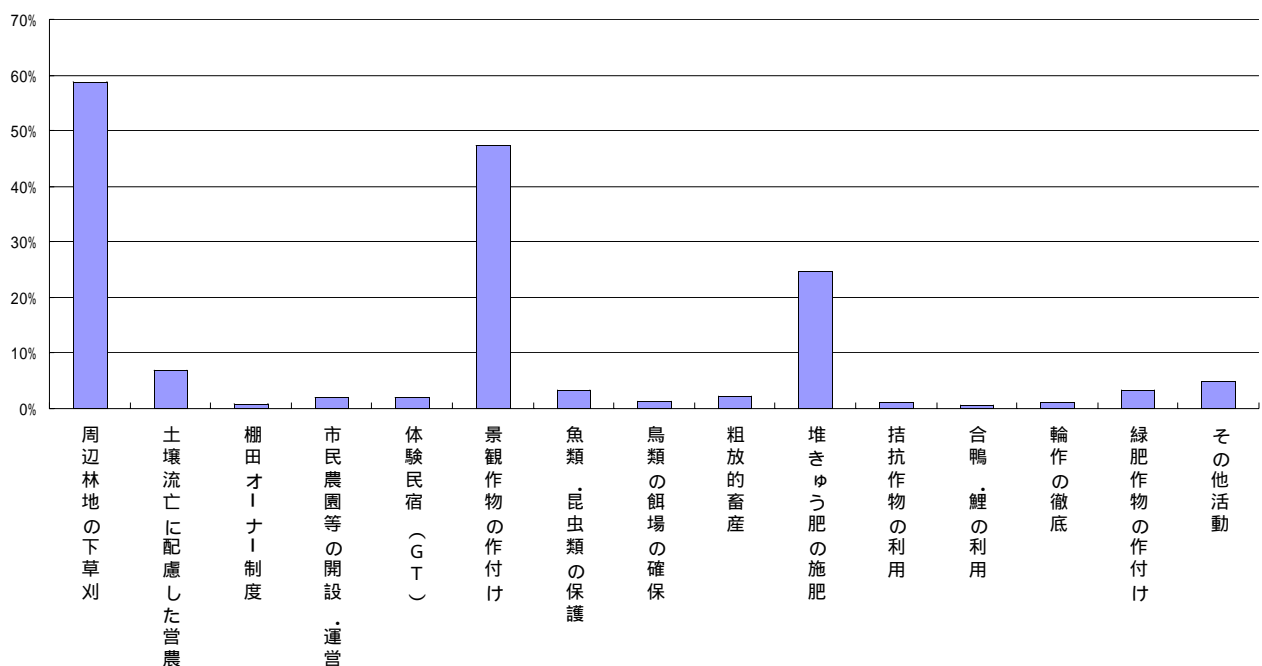
多面的機能を増進する活動においては、「周辺林地の下草刈」が59%と最も多く、次いで「景観作物の作付け」47%、「堆きゅう肥の施肥」25%となっている。

多面的機能を増進する活動（1つ以上選択）

集落協定数	国土保全機能を高める取組		保健休養機能を高める取組				自然生態系の保全に資する取組							その他活動	
	周辺林地の下草刈	土壌流亡に配慮した営農	棚田オーナー制度	市民農園等の開設・運営	体験民宿（GT）	景観作物の作付け	魚類・昆虫類の保護	鳥類の餌場の確保	粗放的畜産	堆きゅう肥の施肥	拮抗作物の利用	合鴨・鯉の利用	輪作の徹底		緑肥作物の作付け
5,701 (100.0%)	3,350 (58.8%)	398 (7.0%)	55 (1.0%)	115 (2.0%)	113 (2.0%)	2,699 (47.3%)	194 (3.4%)	83 (1.5%)	124 (2.2%)	1,408 (24.7%)	63 (1.1%)	35 (0.6%)	63 (1.1%)	194 (3.4%)	278 (4.9%)

「その他の活動」には、「都市農村交流イベントの実施」、「学童等の農業体験の受け入れ」等がある。

（図）多面的機能を増進する活動



農業生産活動等の体制整備

ア 農用地等保全マップの内容

農用地等保全マップの内容は、「農地の法面、水路・農道等の補修・改良」が84%と最も多く、次いで「鳥獣被害防止対策」47%、「農作業共同化又は受委託等」24%となっている。

農用地等保全マップの内容

	体制整備単価協定総数	作成内容				
		農地法面、水路・農道等補修・改良	鳥獣害防止対策	既耕作放棄地復旧又は林地化	農作業共同化又は受委託等	その他将来に向けた適正な農用地保全
協定数 (割合)	2,657 (100.0%)	2,229 (83.9%)	1,247 (46.9%)	33 (1.2%)	641 (24.1%)	233 (8.8%)

イ 地域の実情に即した農業生産活動等の継続に向けた活動

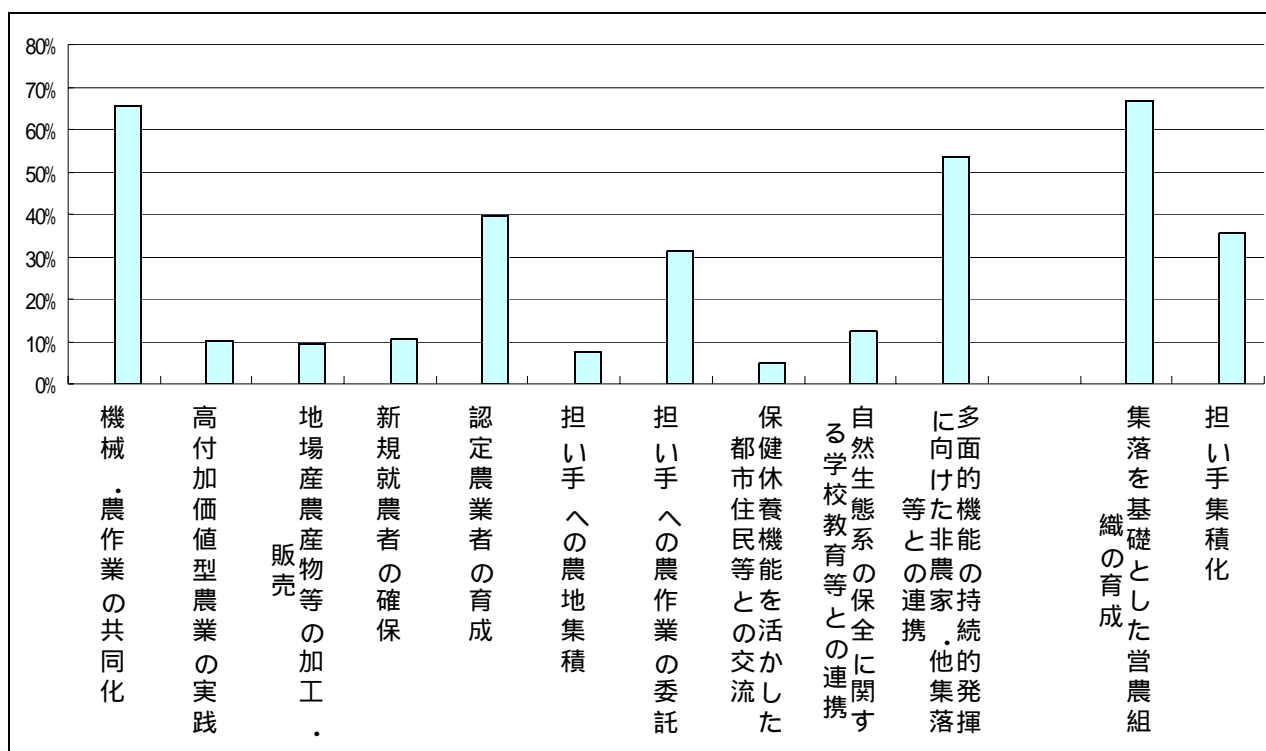
農業生産活動等の継続に向けた活動の内容をみると、A要件を選択した協定が2,657協定、B要件を選択した協定が181協定あった。

A要件の中で、最も多く選択されている活動項目は「機械・農作業の共同化」の66%であり、次いで「多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落との連携」54%、「認定農業者の育成」40%、「担い手への農作業の委託」31%となっている。また、B要件では「集落を基礎とした営農組織の育成」が67%となっている。

農業生産活動等の継続に向けた活動の内容

	体制整備単協定総数	A 要件											B 要件			
		A要件選択協定数	生産性・収益向上				担い手育成			多面的機能の発揮				B要件選択協定数	集落を基礎とした営農組織の育成	担い手集積化
			機械・農作業の共同化	高付加価値型農業の実践	地場産農産物等の加工・販売	新規就農者の確保	認定農業者の育成	担い手への農地集積	担い手への農作業の委託	保健休養機能を活かした都市住民等との交流	自然生態系の保全に関する学校教育等との連携	多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携				
協定数 (割合)	2,657	2,541 (100.0%)	1,670 (65.7%)	258 (10.2%)	242 (9.5%)	271 (10.7%)	1,007 (39.6%)	190 (7.5%)	799 (31.4%)	124 (4.9%)	321 (12.6%)	1,362 (53.6%)	181 (100.0%)	121 (66.9%)	64 (35.4%)	

(図) 農業生産活動の継続に向けた取組の内容



6 共同取組活動の交付金の使途

共同取組活動の交付金の使途をみると、「農道・水路管理費」への使用が最も多く、共同取組活動費の30%を占めている。また、「共同利用機械購入等費」と「共同利用施設整備等費」が併せて12%、次年度以降の機械購入や施設整備費等を含む「積立・繰越」が18%となっている。

共同取組活動の交付金の使途

集落協定 総数	集落協定 総数	役員報酬	研修会等 費	農道・水 路管理費	農地管理 費	鳥獣被害 防止対策 費	共同利用 機械購入 等費	共同利用 施設整備 等費	多面的機 能増進活 動費	土地利用 調整関係 費	法人設立 関係費	その他	積立・繰 越
協定数 (割合)	5,701 (100.0%)	4,828 (84.7%)	2,090 (36.7%)	4,665 (81.8%)	1,561 (27.4%)	999 (17.5%)	1,002 (17.6%)	386 (6.8%)	2,036 (35.7%)	27 (0.5%)	28 (0.5%)	3,531 (61.9%)	2,540 (44.6%)
支出割合	100.0%	8.0%	3.4%	29.6%	7.2%	4.5%	8.6%	3.8%	4.6%	0.1%	0.1%	12.0%	18.0%

